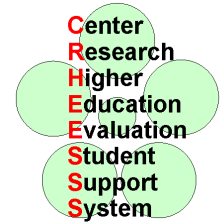


週刊センターニュース No.304

第304号(2010年4月12日) 毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: <http://www.rche-kanazawa-u.jp/>



○●○ 22年度のセンター活動について ○●○

当センターは平成15年4月1日に省令設置され、平成16年度以降は青野センター長のもと本学のカリキュラム開発、教育評価、FD、学生支援の諸活動の支援に資する情報収集とセンターニュース、共同学習会、セミナー等による情報提供を行ってきました。この4月1日より、センター長を西山が引き継ぐこととなりましたが、引き続きセンター活動へのご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

本学の第2期中期目標・中期計画の確定を受けて、当センターにおきましても22年度のセンター活動計画の策定を現在急いでおりますが、本学の22年度計画の遂行にセンターとして貢献できる重点活動事項の選定を行い、これまでにセンターが蓄積してきた高等教育に関する情報、研究成果を整理するとともに、青野前センター長を中心に構築してきた高等教育研究の人的ネットワークをフルに活用し、上記の重点活動事項についての国内外での情報収集をこれまで以上に強化したいと考えております。

本学の22年度計画に沿った当センターの重点活動事項については、その調査研究の成果をカリキュラム研究会、評価システム研究会、FD研究会、学生・学習支援研究会、以上4つの研究会において発表し、各中期計画の責任委員会、部会、部局への重点的な情報提供、コンサルテーションを行います。上記の4つの研究会は従来の共同学習会を廃止したうえで立ち上げるものです。これらの研究会はテーマごとに対応する委員会、部会等と連携して開催することにより情報提供の効率を高めたいと考えております。

本学の22年度計画に沿った当センターの重点活動事項の選定と活動計画の策定を現在急いでおりますが、主な活動事項の概要は以下の通りです。

- 1) 各学類・研究科における教育課程編成方針(カリキュラムポリシー)の明確化に関連して、国内の他大学、さらにアメリカ、イギリスの事例研究に基づいたカリキュラムポリシーの設計、特にカリキュラムポリシーと授業シラバス、授業評価アンケートとの関連や卒業時の達成度評価との関連についての情報提供を行う。
- 2) 学士課程から大学院までの環境教育・ESD(Education for Sustainable Development)のカリキュラム構築に関連して、他大学のカリキュラムの事例調査等を通して、共通教育機構、カリキュラム検討委員会、里山ランドデザイン検討会、学域・学類制に連動した大学院教育改革の関連活動を支援する。
- 3) 平成18年度の教養教育カリキュラム刷新から始まった導入科目を中心としたコア・カリキュラム化の流れをさらに進めるための共通教育特設プログラムの整備について、共通教育機構、カリキュラム検討委員会の活動を支援する。
- 4) 卒業時において各学類が付与する学力の達成度を測るための方法について研究を行う。
- 5) 本学FD活動指針に基づくPDCAサイクルおよびそのモジュールの設計に関連して、国内外の事例研究を行い、情報提供を通してFD委員会、各学類・研究科の取り組みを支援する。
- 6) 厳格な成績評価に関する理論研究、学内外における取り組みやその課題を把握し、本学に適した

方法について調査研究を行う。

- 7) 国内外における大学院生の授業担当事例 (TA、プレ FD) について分析を行い、TA 研修、プレ FD のプログラム案について提案する。特にアクティブラーニングに関する教育方法の研修方法について提案を行う。
- 8) これまでにセンターが蓄積してきた FD に関する知見を整理するとともに、FD 研修内容について検討を行い、授業方法改善をテーマにしたもの、学生支援をテーマにしたもの、それぞれについて研究会を開催する。後者については SD としても実施する。アクティブラーニングに関する教育方法の研修方法についても提案する。

以上のテーマを中心に、上記の 4 つの研究会においてセンターの活動成果報告、研修を実施します。5 月より順次開催して参りますので、多くのご参加をお願いいたします。

(文責 大学教育研究開発部門 西山宣昭)

〇●〇 新着資料のお知らせ 〇●〇

大学教育開発・支援センターに、全国の大学・大学教育センター等から各種報告書が届いております。特色 GP や特別教育研究経費によるプログラムの成果 (途中経過) をまとめた報告も多数含まれております (以下の資料名はその一部です)。資料は、図書室 (総合教育 1 号館 6 階 613 号室。センター共同研究室向かい) に所蔵しております。ご関心のあるもの、参照したいものがございましたら、お貸しすることができますので、ご連絡いただければ幸いです。

- ・ 平成 21 年度採択特別教育研究経費報告書『大学教員教育研修のための相互研修型 FD 拠点形成 2009』京都大学高等教育研究開発推進センター、平成 22 年 3 月
- ・ 特色ある大学教育支援プログラム『確かな学力の向上を目指す理系基礎教育』茨城大学大学教育センター、2010 年 3 月
- ・ 新潟大学第 23 回全学 FD 教育コンピテンシー事業にかかるシンポジウム報告書『大学における基本的教育力の基準枠組み作成の意義と今後の課題』新潟大学全学教育機構大学教育機能開発センター、平成 22 年 3 月
- ・ 特色ある大学教育支援プログラム成果報告書『大学初年次数学教育の再構築』大阪府立大学、平成 22 年 3 月
- ・ 文部科学省戦略的大学連携支援事業『「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」による大学の教育力向上』平成 21 年度活動報告書、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)、平成 22 年 3 月
- ・ 大学院教育改革支援プログラム『ラボ・ボーダレス大学院教育の構築と展開』東京農工大学大学院生物システム応用科学府、平成 22 年 3 月
- ・ 特色 GP プログラム成果報告書『興味と経験から学びを深化する基礎教育—4 つの段階を踏む教育モデル SEED』東京農工大学、平成 22 年 3 月

〇●〇 角間ランチョンセミナー 〇●〇

平成 22 年度の角間ランチョンセミナーは、4 月 12 日 (月) より開催しております。詳細なスケジュールは、当センター Web の「イベント」・「ランチョンセミナー」・「2010 年度」(<http://www.rche-kanazawa-u.jp/event/r10.php>) の項目でご覧いただけます。ランチョンセミナーでのご報告も随時募集しております。info-rche@ge.kanazawa-u.ac.jp、または 076-264-5793 (渡辺) までご連絡下さい。